

### 平成20年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

|               |                                |
|---------------|--------------------------------|
| 事業名           | 農業担い手誘致・育成事業                   |
| 事業主体<br>(連絡先) | 飯田市<br>(産業経済部農業課 0265-21-3217) |
| 事業区分          | (6)産業振興、雇用拡大に関する事業             |
| 事業タイプ         | ソフト                            |
| 総事業費          | 1,628,592円 (うち支援金: 1,550,000円) |

#### 事業内容

「新・農業人フェア」等の新規就農相談会へブース出展を行い、就農意欲のある人材を発掘し、特に農業経験の無い人には「ワーキングホリデー」への参加を勧めることで具体的に就農をイメージしてもらう。次の段階では「短期農業体験プログラム」への参加に誘導し、段階を追って外部から担い手を誘致していく。また、Iターン者や地域内での新規就農者が農業研修に入った段階では「あぐり実践塾」への参加により、農業に必要な知識を身につけてもらうためのサポートを行っていく。



【あぐり実践塾試験場見学】

自己評価 (事業実施率) 【 A 】

#### 事業効果

- ・新農業人フェアでの相談者  
6月14日 池袋 21組(23名)  
9月13日 浅草 12組(14名)  
3月14日 池袋 21組(31名)
- ・ワーキングホリデー参加人数 560人 延べ2,572日
- ・短期農業体験プログラム参加者 春5人 秋5人
- ・あぐり実践塾 塾生人数 16人 開催回数 12回  
このうち、平成20年度からの新規参加者は5人

#### 【目標・ねらい】

- 就農意欲のある人材の発掘
- 飯田市での就農に向けた誘導
- 農作業体験によるスキルアップ
- 農業研修中のフォロー

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

#### 今後の取り組み

今後も引き続き、「新・農業人フェア」など都市圏で開催される就農相談会に出展し、積極的に就農意欲のある人材を発掘し、飯田市での就農に向けた誘導・育成に取り組んでいく。また、ワーキングホリデーや短期農業体験プログラムといった農作業体験ができる仕組みを活用して、就農意欲のある人材がより具体的に就農イメージを持てるようにする。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。